

# ふれあいジョブについて

小出特別支援学校川西分校進路指導部

地域の方々から支えていただき、今年度も“ふれあいジョブ”を行っています。地域の中で学ぶことは、地域の人とのふれあいを深め、卒業後の社会生活をより豊かに送るための第一歩となります。

県内の他地域の活動の中には「プレジョブ」と呼ばれている活動があります。目的は似ていますが、「プレジョブ」は休日での職業体験かと思いますが、“ふれあいジョブ”は授業として行っています。

“ふれあいジョブ”では、生徒自身が週に1回定期的に地域の事業所に通い、就労体験をさせていただいています。実際にその職場で仕事を体験することで、職種イメージを具体化し、仕事の内容や求められる技能、職場でのマナー等を学んでいます。この取組をやり遂げることで社会人としてのイメージをもち、働くことへ意欲が高まり、働く喜びを実感できます。また、ここでの経験が現場実習(定められた期間の就労経験)につながっていきます。

## “ふれあいジョブ”の名前について

当校は、「小出特別支援学校ふれあいの丘分校高等部」としてスタートしました。開校当初から“ふれあいジョブ”は行われています。

就労を通しての地域の人とのふれあいを大切にしていることや当時の校名から、この取組を「ふれあいジョブ」と名付けました。校名は変更しましたが、これまでの学校の成り立ちの経緯や地域とのつながりを継承する意味で、名前を変えずに行っています。

## 今年度の概要

- ① 日時  
週に1回、1～2時間程度現場で実習を行います。(日時は相談して決めています)  
勤務時間によって、終了後は帰校をしています。
- ② 人数  
1事業所、1日につき高等部生徒1～2名の受け入れをお願いしています。
- ③ 引率  
必要な場合に当校職員が付添または巡回支援します。  
必要な支援等について説明させていただきます。
- ④ 期間  
1学期(5月～6月期) 2・3年生対象  
2学期(9月～10月期) 1年生対象  
3学期(2月期) 2年生対象

## ふれあいジョブの様子

※過去のものを含める

就労継続支援B型事業所のトイレットペーパー生産工場の様子です。出荷のための包装をする前に、端を三角の形に折ります。商品が綺麗に見えるようにしっかりと折ります。



製造会社で部品のバリ取り(トリミング)作業をしました。根気よく同じことを正確に繰り返します。慣れてきたときには、能率も意識していきます。



酒造会社で出荷用の段ボールの組立を行っています。ガムテープをピンと張って貼ると共に、商標が隠れないように気を付けます。



建設会社で、コンクリート型枠の整備を行っています。  
倉庫内で一人きりの作業になるので安全確認、作業の把握が大切になります。



就労継続支援B型事業所での実習です。外部からの受託作業に取り組みました。頭髪が商品に入らないように不織布の帽子をかぶるなど身だしなみに気を付けます。

高齢者のデイサービスでの様子です。利用者1人1人に声を掛け、お茶を出します。  
朝の出迎えや風呂上がりの整容も行います。



ふれあいジョブを退勤したら、路線バスに乗り帰校します。バスの乗り方、乗車マナー等、バス練習を行う上でとても貴重な機会になっています。

